



HIBINO HOSPITAL vol.80

(日比野美術研究室附属病院放送部)



撮影：後藤充



過去のHIBINO HOSPITALの様子

アーティスト日比野克彦によるワークショップシリーズ

「ヒビノホスピタル」の記念すべき第80回目をアーカススタジオで開催！

80回目となる「HIBINO HOSPITAL (ヒビノホスピタル 以下、H+H)」を7月9日(日)に開催いたします。H+Hは、1999年から守谷市を拠点に茨城県内各地で開催している、アーティスト日比野克彦によるワークショップシリーズです。ワークショップのテーマや内容が発表されるのは、当日。参加者は想像力を膨らませ、はじめて出会う人たちとのコミュニケーションをとおして、テーマに応じてゆきます。H+Hは、アートの知識や技術よりも、まだ見ぬものを楽しむ心があれば、誰でも参加できるのが魅力。日比野がどのようなお題を出すのか、そしてそれに対して参加者たちの共同作業がどのように繰り広げられるのか、どうぞお楽しみに。

ぜひこの機会にご取材賜りたく、貴誌ならびに貴社情報媒体などに掲載紹介をいただけますよう、お願い申し上げます。



概要

日 時：2023年7月9日(日) 14:00-16:30 (会場受付は 13:40 開始)

会 場：アーカススタジオ

内 容：当日のお楽しみです。動きやすい格好でご参加ください。

参加費：1人につき 1,000 円 (税込) ※現地でお支払いください。

定 員：25 名 ※先着順。定員に達し次第受付終了。

予 約：<https://forms.gle/p6EpHaxCYssH298aA>

※新型コロナウイルスの感染状況により、イベントがオンラインへと変更になる可能性があります。

最新情報についてはアーカススタジオにお問合せください。

アーティスト

日比野克彦 Hibino Katsuhiko

アーティスト。1958年岐阜市生まれ、東京藝術大学大学院修了。

1980年代に領域横断的、時代を移す作風で注目される。作品制作の他、身体を媒体に表現し、自己の可能性を追求し続ける。各地域の参加者と共同制作を行い社会で芸術が機能する仕組みを創出する。1999年よりアーカスプロジェクトにてワークショップシリーズ、HIBINO HOSPITAL (日比野美術研究室附属病院放送部) を定期的に開催。平成 27 年度芸術選奨文部科学大臣賞 (芸術振興部門)。「明後日新聞社文化事業部/明後日朝顔」(2003～)、「アジア代表」(2006～)、「瀬戸内海底探査船美術館」(2010～)、「種は船航海プロジェクト」(2012～) などのプロジェクトの他、2014年より異なる背景を持った人たちの交流をはかるアートプログラム「TURN」を監修。

現在、東京藝術大学学長。岐阜県美術館館長。日本サッカー協会社会貢献委員会委員長。そのほか、東京都芸術文化評議会専門委員、公益財団法人日本交通文化協会理事を務める。



ヒビノホスピタルとは

1996年よりいろいろな試みで行われてきた、日比野克彦とその研究室 (東京藝術大学) によるプロジェクト

『TEST』シリーズ第7弾として、1999年よりスタート。「HIBINO HOSPITAL(日比野美術研究室附属病院放送部)」というプログラム名は、もともとインターネット上にホームページを開設し、「アートによる診療」を施しながら、参加者を対象にオフラインパーティーでワークショップを行い、アーティストとともに作品を制作・展示するという内容に由来します。現在はオフラインパーティーのみの活動となり、システムを一部変更しながら日比野克彦発案による誰でも参加できる多彩なワークショップを継続的に実施しています。H+H Vol.34「明後日朝顔新聞社説明会 (新聞社立ち上げ企画会議)」では、のちに「明後日新聞社文化事業部/明後日朝顔」(2003～)につながるなど、これまでの日比野氏のH+Hでの様々な原初的なワークショップ要素は、多層的に多様なアートプロジェクトへと全国展開しています。

主催：アーカスプロジェクト実行委員会

ご取材のお申し込みは下記へお願いいたします。

お問い合わせ先

アーカススタジオ (火-土 10:00 -18:00)

〒302 - 0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 担当 | 藤本

TEL | 0297 - 46 - 2600 E-mail | arcus@arcus-project.com Web | www.arcus-project.com

アーカスプロジェクト実行委員会事務局

茨城県政策企画部地域振興課 担当 | 鈴木・大西 TEL | 029-301-2786